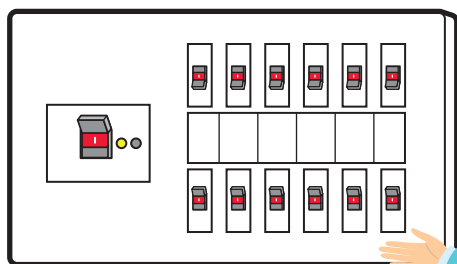


停電時の対応方法につままして

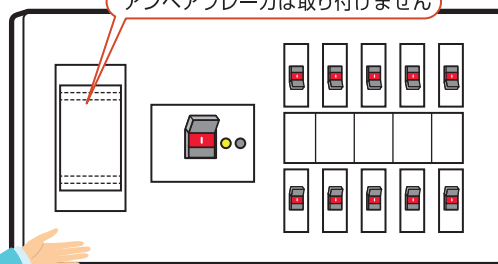
スマートメーターは、アンペアブレーカ機能を内蔵。電気をを使いすぎると、メーター内部で電気を遮断、10秒後に自動復帰します。

東京電力パワーグリッド(株)では、スマートメーターの設置を順次進めております。スマートメーターの機能のひとつとして、契約アンペアをスマートメーターにて設定（アンペアブレーカ機能）します。それにともない、お客さまの分電盤へのアンペアブレーカの取付は行いません。

2種類の分電盤のどちらかが設置されています。



アンペアブレーカスペース無し



アンペアブレーカスペースあり

もし、お客さまのお宅だけ停電になったら？
—— 電気をを使いすぎている可能性があります ——

停電後、10秒後に自動で電気が入ります。この場合、同時にご使用になる電気製品を減らしてください。同時にご使用になる電気製品が多い状態が続くと、再度アンペアブレーカ機能により電気が切れる可能性があります。

10秒以上停電が続く。

漏電遮断器が切れている場合があります。
※漏電遮断器の操作に関しては、裏面をご覧ください。



アンペアブレーカ機能により、電気の入り切りが30分間に複数回連続すると自動で電気が入らなくなる場合があります。電気が入らなくなった場合、お手順をお掛けしますが、東京電力カスタマーセンターへご連絡をお願いいたします。

東京電力 カスタマーセンター
☎ 0120-995-007



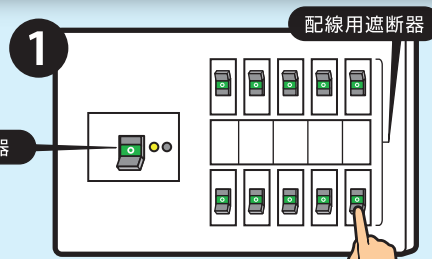
電話帳への事前登録を
お勧めいたします。

※番号をよくお確かめのうえ、おかけ間違いのないようお願いいたします。

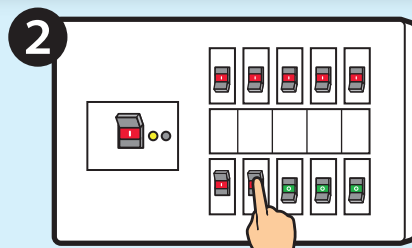
東京電力パワーグリッド株式会社



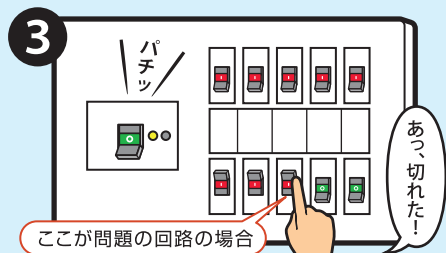
▶▶▶▶ 漏電遮断器が作動した場合の対応方法



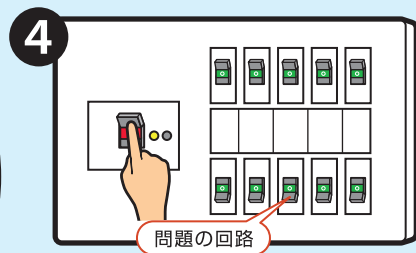
1 配線用遮断器のつまみをすべて「切」にする



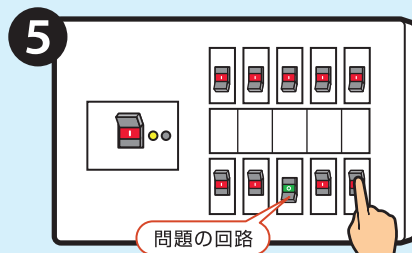
2 漏電遮断器のつまみを「入」にしたあと、配線用遮断器のつまみを1つずつ「入」にする



3 問題のある回路の配線用遮断器を入れたときに漏電遮断器が切れたらその回路に漏電の可能性がある



4 すべての配線用遮断器を「切」にし、再び漏電遮断器のつまみを「入」にする



5 問題のある回路以外の配線用遮断器を1つずつ「入」にする

(注)イラストの分電盤は一例です

問題のある回路が発見された場合にはすぐに電気工事店に点検を依頼してください。また、電気工事店がわからないときや、ご自分での確認処理が不安な場合には東京電力パワーグリッド(株)までお気軽にご相談ください。

※当社設備(電力量計、アンペアブレーカなど)が原因となる場合を除いて、点検費用は有料となります。

▶▶▶▶ その他の停電



《《 電気がつかないときは、東京電力パワーグリッド(株)へご連絡ください

電気が消えてお困りのときは、いつでもお伺いします。停電のご連絡の際には、おところ・お名前・電話番号とわかりやすい目標をお知らせください。

その1：ご近所一帯が停電したとき

台風や落雷、事故などによって、東京電力の設備が故障し、停電することがあります。東京電力へご連絡ください。

なお、一刻も早く電気をお届けできるよう、全力で復旧作業を行いますのでお客さまのご協力をお願いします。

※突発的な事故により停電が起きたときには、お問い合わせの電話が一時的に集中するため、テープの音声により停電の復旧状況などをお知らせすることもあります。ご了承ください。

停電情報は東京電力のホームページでもご確認いただけます。

その2：工事のための停電もあります

電気のご使用の増加にともない、配電線を強化したり、お客さまのご要望によって、電柱や電線を移設する場合など、やむを得ず電気を止めて工事をする場合があります。この場合には、チラシ・ポスターなどであらかじめお知らせします。

